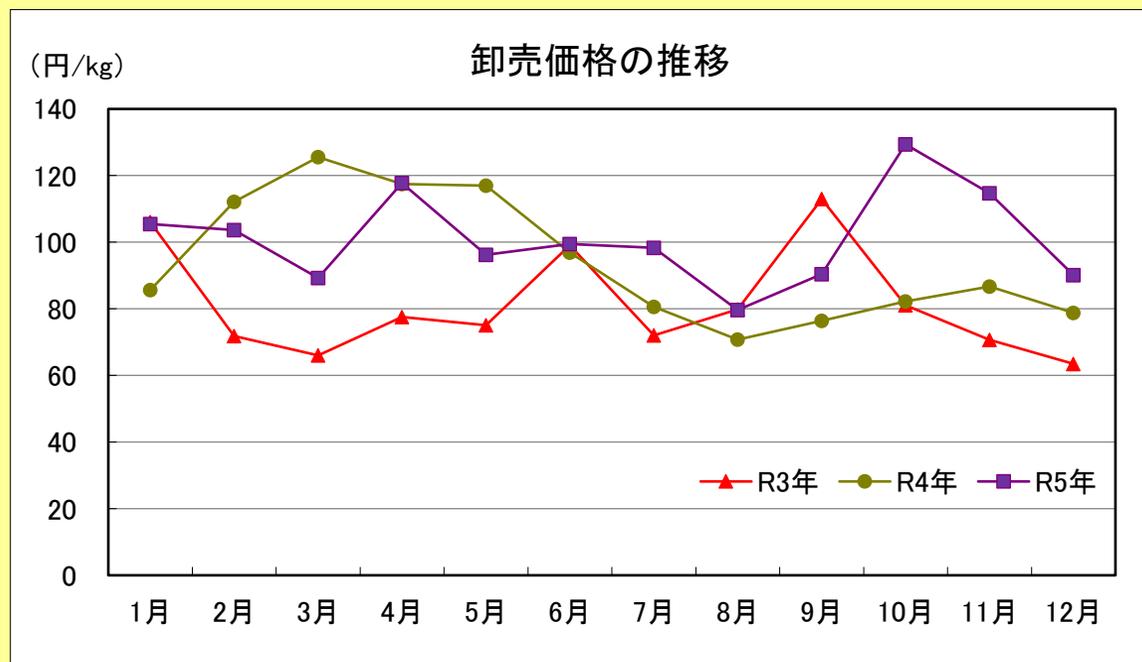
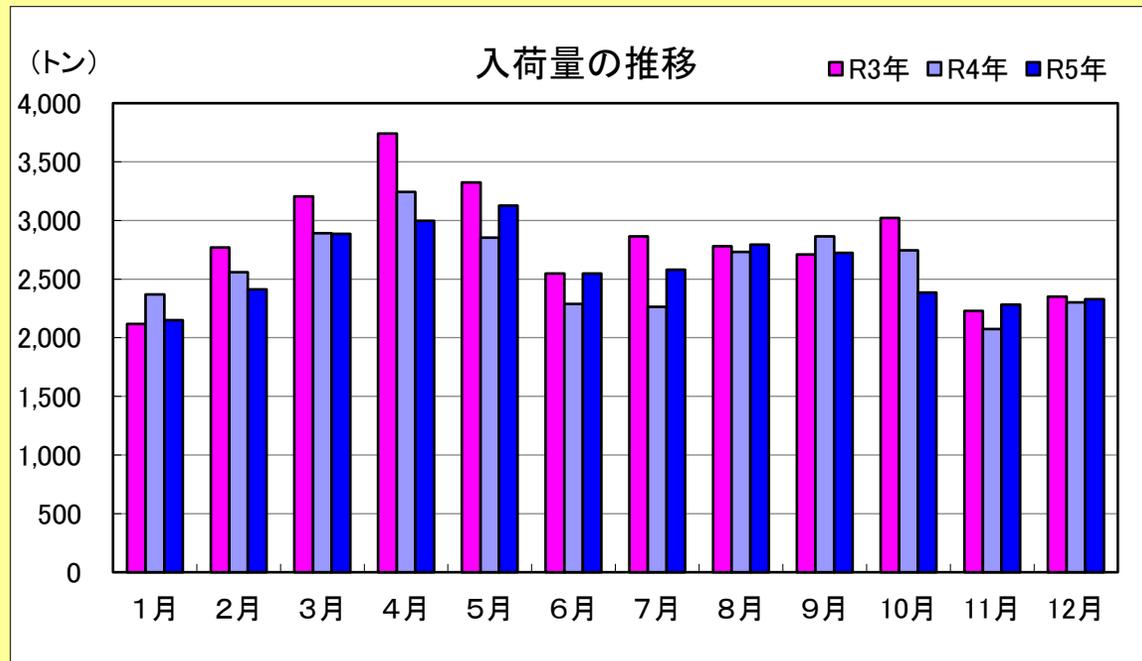


# キャベツの動向

○年により差があるものの、入荷量は4月から5月にかけて多くなっている。

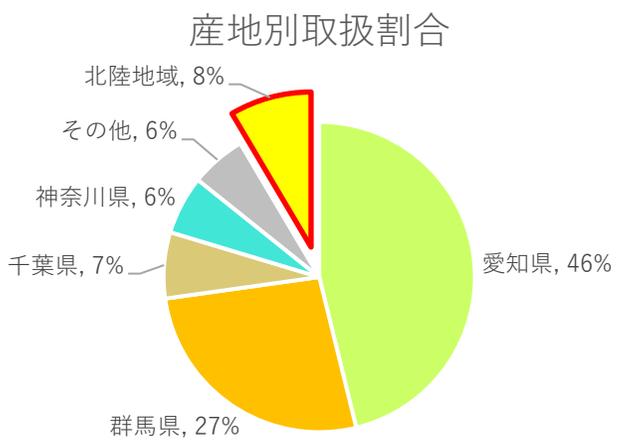
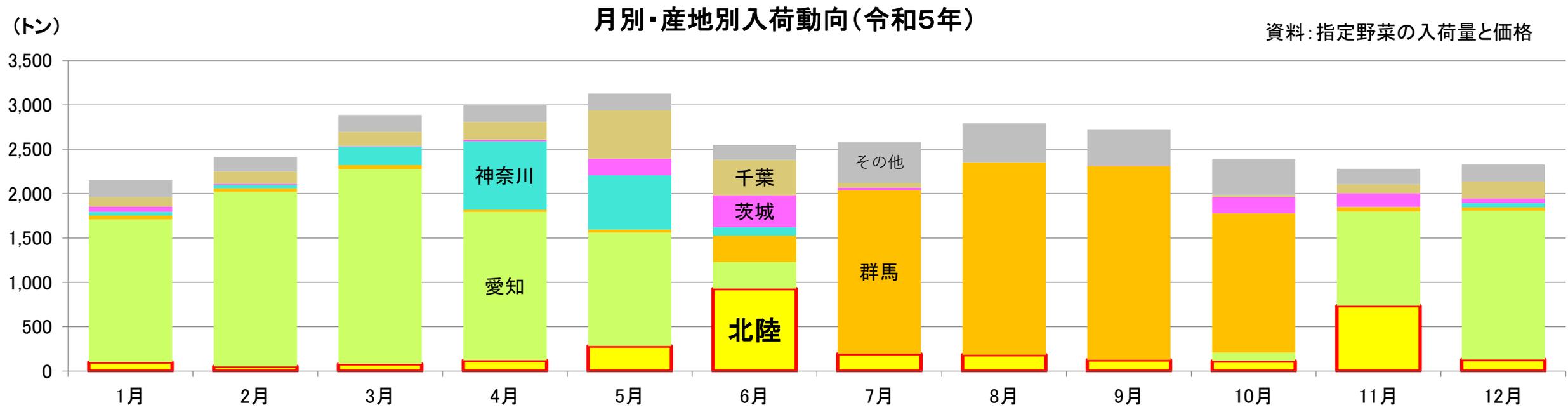
○令和3年から5年は、3年連続で7月から長期に渡って価格が低迷し、8月、9月に緊急需給調整事業を発動。夏場の価格低落が常態化している。



全国市場での取扱数量	北陸域内市場での取扱数量	北陸域内(4県)からの入荷シェア	北陸域外からの入荷シェア
655千トン	13.5千トン	8%	92%

○入荷量は、愛知産が46%、次いで群馬産が27%で、その2県で約7割を占めている。

○富山産はほとんどが北陸地域に出荷されるが、福井産は9割が近畿地域へ出荷されている。



(参考) 主要消費地域への出荷量

資料: 令和5年青果物卸売市場調査報告

